

第6回宇宙開発委員会（定例会議）

議 事 次 第

1. 日 時 昭和55年4月 2日（水）  
午後2時～4時
2. 場 所 宇宙開発委員会会議室
3. 議 題 宇宙開発に関する基本計画について
  
4. 資 料  
委一6-1 第5回宇宙開発委員会（定例会議）  
議事要旨（案）  
委一6-2 宇宙開発に関する基本計画について（案）

# 委-6-1

## 第5回宇宙開発委員会（定例会議）

### 議 事 要 旨（案）

1. 日 時 昭和55年3月26日（水）  
午後2時～4時
2. 場 所 宇宙開発委員会会議室
3. 議 題 (1) E C S - b 不具合原因究明の審議状況について  
(2) 宇宙開発計画の改訂について  
(3) 第一次材料実験テーマの第一次選定結果について
4. 資 料  
委-5-1 第4回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（案）  
委-5-2 E C S - b 不具合原因究明の審議状況について  
委-5-3 宇宙開発計画（昭和54年度決定）（案）  
委-5-4 第一次材料実験テーマの第一次選定結果について（報告）

### 5. 出席者

宇宙開発委員会委員長代理  
" 委員  
" "  
" "

吉 誠 雅 夫  
山 内 正 男  
八 藤 東 應  
斎 藤 成 文

### 説明者

宇宙開発委員会第四部会長

佐 貫 亦 男

### 関係省庁職員

科学技術庁研究調整局長  
" 長官官房審議官  
通商産業省機械情報産業局次長  
" 工業技術院総務部長  
運輸省気象庁総務部長  
郵政省電波監理局審議官  
東京大学宇宙航空研究所  
宇宙開発事業団システム計画部  
" "

勝 谷 保  
神 津 信 男  
小 長 啓 一  
(代理：吉田)  
保 阪 勲 次  
(代理：高橋)  
相 良 英 明  
(代理：山中)  
鶴 光 一 郎  
(代理：飯田)  
福 島 玉 男  
久 保 園 晃  
大 野 信 幸

### 事務局

科学技術庁研究調整局宇宙企画課長  
" " 宇宙国際課長  
" " 宇宙開発課長

佐々木 寿 康  
佐 藤 允 克  
鈴 木 晃 他

### 6. 議事要旨

#### (1) 前回議事要旨

第4回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨案が確認された。

#### (2) E C S - b 不具合原因究明の審議状況について

佐貫亦男第四部会長より、以下の通り報告が行われた。  
なお、事務局より、資料委-5-2に基づき補足説明が行われた。

- 。現時点で判断する限り、原因としてアポジモータ、衛星構  
体及び衛星の熱しや断の不具合があげられる。
- 。第四部会は、不具合原因究明のため、3名の専門委員を米  
國に派遣し、上記3点を中心に積極的な調査活動を行うこと  
としている。

(3) 宇宙開発計画の改訂について

事務局より、資料委-5-3に基づき説明が行われ、原案ど  
おり宇宙開発計画（昭和54年度決定）が決定された。

(4) 第一次材料実験テーマの第一次選定結果について、

事務局より資料委-5-4に基づき説明が行われ、以下の質疑応答の  
のち、第一次材料実験テーマ選定特別部会報告書が了承された。

山内：最終的にテーマ数をどの程度まで絞るのか。

事務局：スペースシャトル全容量の1/2～1/3を使用するこ  
とが現在考えられており、これに搭載可能なテーマ数まで絞  
ることになる。

## 宇宙開発に関する基本計画について（案）

昭和55年4月2日  
宇宙開発委員会  
議 決

我が国の宇宙開発に関する基本計画を下記のとおり定めることについては異議がない。

## 記

我が国の宇宙開発は、内外における宇宙開発の現状、今後の見直し等を踏まえ、次により総合的かつ計画的に推進することとし、関係各界の総力をあげて、これに取り組むこととする。

1. 開発の実施は、宇宙開発委員会が定めた宇宙開発計画（昭和54年度決定）に基づいて行う。
2. 開発体制については、宇宙開発委員会における重要施策の企画調整機能の一層の充実強化を図る。また、関係各機関は、宇宙開発委員会の方針に沿って、その分担と役割に応じ相互の協力を維持しつつ研究及び開発を進める。
3. 開発を進めるに当たっては、進捗状況の把握及び成果の評価を行いつつ、計画の管理を合理的に行うとともに、特に資金の効率的な運用に配慮する。

なお、その際、実験用静止通信衛星「あやめ2号」の打上げ結果を十分反映させるものとする。